

渡島支部活動報告

1. 渡島支部（渡島体育研究会）の活動について

渡島体育研究会では、今年度の全道大会に向け、ボール運動・球技に視点を絞り、「授業計画」→「授業実践」→「検証（成果・課題）」を重ねてきた。地域を3ブロックに分け、「授業づくり」に重点を置き、本研究会の理論を確かめるべく研究部を中心に授業実践を進めてきた。

今年度は成果と課題の両方を検証しながら会員全員が一丸となって全道大会に向けて全力を注いできた。

豊かなスポーツライフの実現

〔研究主題〕

子供が運動の楽しさに気付き、
主体的・協働的に運動に親しむ資質・能力の育成

〔副題〕 ゲームを中心とした授業

視点1：子供の実態に
合った授業構想

- ・今もっている力で楽しめるゲーム
- ・ゲーム様相を見取り、指導に生かす
- ・子供の課題意識と教師の意図を関連

視点2：主体的・協働的な
学びを保障する学習スタイル

- ・必要感のある課題の明確化
- ・フェアプレイの浸透
- ・作戦マネジメント学習の展開

「運動の機能的特性」 (運動のもつ魅力・楽しさ)

2. 第55回北海道学校体育研究大会渡島大会について

第55回全道大会が、平成30年10月19日（金）に七飯町で開催された。全道各地から200名を超える参加者を迎え、ゴール型2実践、ネット型2実践の公開授業が行われた。

午前中のうちにメイン会場の七飯文化センターにて開会式、全体会が行われた。引き続き、午後からは各分科会（グループワーク）、閉会式が行われた。

| 会場 | 学校 | 学年 | 単元 | 授業者 |
|-----------------|--------|----|------------------------|---------|
| 七飯会場 (ゴール型) | 七重小学校 | 6年 | バスケットボール(ボール運動:ゴール型) | 教諭 落宰公人 |
| | 七飯中学校 | 3年 | バスケットボール(球技:ゴール型) | 教諭 村田大樹 |
| 大中山会場 (ネット型) | 大中山小学校 | 5年 | キャッチバレーボール(ボール運動:ネット型) | 教諭 岩本 匠 |
| | 大中山中学校 | 2年 | バレーボール(球技:ネット型) | 教諭 伊與田篤 |

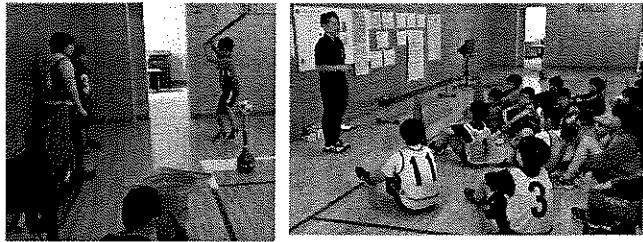
これまで多くの授業実践・検証を通して積み上げてきた「ゲーム中心の授業」＝「運動の特性を十分に味わいながら、目の前にある課題を引き出し、その解決を図る学習過程」を授業提案することができた。「ゲーム中心の授業」を成立させるために不可欠な「ゲーム様相図の活用」「フェアプレイ」「作戦マネジメント学習」なども提案することができた。午後からのグループワークでは、参加者一人一人の理論や考えをお互いにアウトプット、インプットでき、今後の渡島支部にとってとても有意義な大会となった。

「作戦の定義とは?」「(特に中学校における)技能面の指導や評価は?」など、今なお多く残る課題を今後研究の中心に据え、渡島支部全員で研鑽を積んでいきたい。

3. 今年度の授業実践

(1) 4人の授業者によるスキルアップ授業（15回）

七重小「ティーボール」



ベースボール型の様相検討は今後の研究課題の1つ

七飯町立七重小学校 6年 落宰教諭

7/11「ティーボール」 9/12「キャッチバレーボール」

10/16「バスケットボール」

大中山小「陸上（リレー）」



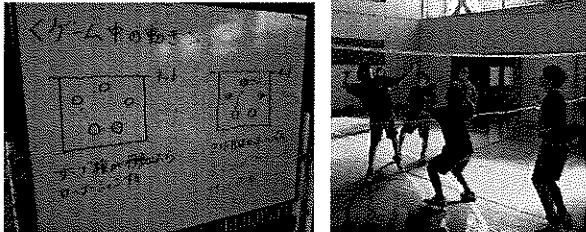
「バトンパス」に焦点を当てた練習→競争（ゲームへ）

七飯町立大中山小学校 5年 岩本教諭

7/12「陸上（リレー）」 9/20「バスケットボール」

10/15・17「キャッチバレーボール」

七飯中「バレーボール」



キャッチありルールで、アタック、ブロック

など運動の特性を十分に味わう

七飯町立七飯中学校 3年 村田教諭

7/13「サッカー」 9/19「バレーボール」

10/15・17「バスケットボール」

大中山中「ソフトボール」



雨天のため、急遽スポンジボールを使用して体育館での授業

七飯町立大中山中学校 2年 伊與田教諭

7/10「ソフトボール」 9/20「バスケットボール」

10/16・17「バレーボール」

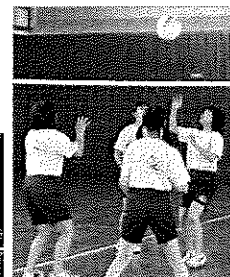
(2) 全道大会に向けた「プレ授業」（3回）

7/23 北斗市立上磯中学校3年「バレーボール」 澁谷尚弘教諭

9/18 福島町立福島中学校3年「バスケットボール」 尾形浩介教諭

9/18 函館市立桔梗小学校5年「キャッチバレーボール」 弓庭美帆教諭

全道大会本番と同じ指導案でプレ研授業を行い、そこから見えてきた課題を検証、授業づくりの修正を重ねた。函館支部にも協力を仰ぎ、プレ授業を実施してもらうなど、支部間での連携も図ることができた。



(3) 渡島教育研究集会森大会

11/16 森町立砂原中学校1年「バレーボール」 湊康太教諭

《チェックシート参加者の声から抜粋》



- ☆キャッチやスパイクの質が高く、生徒の実態に合っていた。
- ☆ゲーム中のルールの少なさ（シンプルな内容）が、集中が続かない生徒でも取り組みやすいものになっていた。
- ★チーム編成に工夫があれば、女子ももう少し積極的に取り組めた。
- ★最低限、身につけさせたいことを明確にできるとよい。
- ★課題を大きく明示すれば、もっと意識しやすいかもしれない。